

人権作文

市内の小中学生が書いた人権作文を紹介します。



柳城中学校3年
古川 理緒

昔と今の人権侵害

私は、学校の人権学習で太平洋戦争中の「沖縄戦」の新聞記事を読み、人権について考えました。その記事には沖縄の人たちの集団自決について書かれていました。私は、この学習で、何の罪もない人たちが集団自決に追い込まれたり、正しい考えや情報を否定されたりするような人権侵害があつてはいけないと思いました。

しかし、今も、戦争とは違う形の人権侵害が起こっています。それは「ネットでの誹謗中傷」です。沖縄戦の話だけを聞くと、今ではありえないような話だと感じてしまいますが、これらの人権侵害とネットでの人権侵害は似ている所も多いと思います。具体的に言つと、戦時中は正しいことを言っている人たちが敵視されていました。今も正

しいことを言っている少数の人が、間違つたことを信じている大勢の人たちに対抗すると、その大勢の人たちは少数の人たちが間違っているかのように攻撃してへる事があります。

他にも、沖縄戦の時には、根も葉もないうわさから、村の人たちを守るために、何の罪もない赤ちゃんを殺さざるを得なかったことがあつたように、ネット上では、根も葉もないうわさから匿名で攻撃されることがあります。

このように、昔と今の人権侵害は似ているところがあります。しかし、私は今の人権侵害のほうが悪く思っています。なぜなら、今は世界中から、匿名で誰でも簡単に攻撃することができるようです。また、攻撃してくる人のほとんどが、「今、自分が人

権侵害をしている」という自覚がありません。だから、どんどん誹謗中傷が広がっているし、今では同時にいくつもの誹謗中傷が起こるようになっていて、昔のように自分の意見を発信できなくなつていくと思います。昔の人たちはやがておかしいことに気付いて、戦後みんなが自由に意見を言うように変えていったのに、このままではその時以上に正しいことが通用しない理不尽な世の中になっていってしまうと思うし、取り返しのつかないことになっていくと思います。

だから私は、自分ができることをしていきたいと思えます。私はまだ中学生なので、世界を動かすような大きな力は持っていません。でも、他の人の人権を侵害しないことはできるし、少し難しいけどいつも冷静に考えて正しい立場でいることもできます。

これからも学んできた人権侵害の恐ろしさを忘れず、正しい立場でいられるように心がけていこうと思います。

【先生からのひびき】
しっかりした自分の意見を持つている古川さんは素晴らしいです。主張すべき時には主張することができ、同時に他人の意見を尊重する姿勢も持っていますね。

【お詫びと訂正】
広報やながわ3月15日号の人権作文で紹介した名前に誤りがありました。お詫びして訂正します。

【誤】 中川 瑛人
【正】 中川 瑛斗

広報やながわ

令和4年4月15日号 No.406

●発行 柳川市 / 〒832-8601 福岡県柳川市本町 87-1
●編集 総務部企画課広報広聴係 (直通) ☎0944-77-8425 FAX74-5520
●URL <https://www.city.yanagawa.lukuoka.jp/> ●e-mail kouin@city.yanagawa.lg.jp

「広報やながわ」は、年齢や障がいの有無などを問わず、できるだけ多くの人が読めるように、ユニバーサルデザインを導入しています。

広報やながわ

柳川

Public relations magazine of Yanagawa

CONTENTS	ページ
人事異動・水の精紹介	2
やなぼでお得にお買い物	3
広告募集、中小企業向け融資制度ほか	4~5
お知らせ掲示板	6~7
人権・同和教育シリーズ	8

4 / 15
2022.No.406



子どもたちに夢を

4月2日、「どすこい!柳川2022」が高畑公園で開催されました。このイベントは、子どもたちに素晴らしい柳川を残そうと、柳川チャイルド育成クラブ(近藤幸則会長)が企画。当日は、秀ノ山親方(元大関琴奨菊)が駆け付け、土俵の上のステージから子どもたちに夢や目標を持つ大切さを伝えました。また、綱引きでは親方も参加して子どもたちと交流。最後は親方監修の特製ちゃんこ鍋600杯がふるまわれました。